

# 平成 25 年度 事業 報告

公益財団法人への移行後 2 年が経過した。「みんなの健康を守る」を理念とし、県民の疾病予防と健康の保持増進に努めるべく各種健診・検査事業及び普及・啓発事業を積極的に推進した結果、平成 25 年度事業は、概ね順調に推移した。

平成 24 年 1 月に新築移転した総合健診センター・ヘルスポートは、ドック専門施設としての認知度がより一層高まったことに加え、地域に密着した渉外活動を展開した結果、平成 25 年度は、年間 619 名の受診者増となった。

また、業務量の増大に伴い手狭となっていた西部検査所の事務所機能の一部を、新たに借用した北側隣地に移転したことにより、所内健康診断の受診者待合室の拡大や駐車場確保など受診環境の改善を図ることができた。

新規受注では学校 24 団体、地域・職域保健 71 団体を受託することができた。

設備投資としては、デジタルでの撮影を指定する顧客、事業所等の増加や乳がん検診の需要の高まりに対応するため、胃・胸部併用 X 線デジタル検診車及びマンモグラフィ検診車を整備した。また、公益財団法人 JKA の検診車の整備補助事業により、より多くの県民に対し受診機会の提供を図るため、聴覚障がい者及び外国人支援システム搭載胃部 X 線デジタル検診車の整備を行った。

平成 25 年度の協会の業務執行状況については、次のとおりである。

## I. 業務執行状況

### 1 役員会等の開催

・平成 25 年度 理事会(平成 25 年 6 月 6 日)

決議事項／平成 24 年度事業報告、平成 24 年度収支決算、公益事業振興補助事業による胃部 X 線デジタル検診車の導入、長期借入金の借換、平成 25 年度定時評議員会の開催

報告事項／西部検査所隣地(事務所)借用、浜松医療センター(健診センター)業務委託、代表理事、執行理事の業務報告事項

出席等／理事現在数 12 名、出席理事 10 名、欠席 2 名。監事出席 2 名。

---

・平成 25 年度 定時評議員会(平成 25 年 6 月 21 日)

決議事項／平成 24 年度事業報告、平成 24 年度収支決算

報告事項／公益事業振興補助事業による胃部 X 線デジタル検診車の導入について、長期借入金の借換、西部検査所隣地(事務所)借用、浜松医療センター(健診センター)業務委託

出席等／評議員現在数 10 名、出席評議員 7 名、欠席 3 名。監事出席 2 名。

---

・平成 25 年度 臨時評議員会(平成 25 年 7 月 8 日)

決議事項／評議員候補者の推薦(2 名)

同意書／評議員現在数 10 名、書面提出評議員 10 名。

---

・平成 25 年度 評議員選定委員会(平成 25 年 7 月 20 日)

決議事項／評議員の選任(2 名)

出席等／評議員選定委員現在数 5 名、出席委員 5 名。出席理事 2 名。

---

・平成 25 年度 理事会(平成 25 年 9 月 30 日)

決議事項／新健診システム導入に係る契約締結、パソコンの購入契約締結

同意書／理事現在数 12 名、書面提出理事 12 名。確認書／監事現在数 2 名、書面提出監事 2 名。

・平成 25 年度 理事会(平成 26 年 2 月 26 日)  
 決議事項／レントゲン車(胸部デジタルX線検診車)の導入  
 同意書／理事現在数 12 名、書面提出理事 12 名。 確認書／監事現在数 2 名、書面提出監事 2 名。

・平成 25 年度 理事会(平成 26 年 3 月 18 日)  
 決議事項／平成 26 年度事業計画案、平成 26 年度収支予算案、資金調達及び設備投資の見込みについて、  
 専務理事及び事務局長の選定  
 報告事項／代表理事、執行理事の業務報告事項  
 出席等／理事現在数 12 名、出席理事 11 名、欠席 1 名。監事出席 2 名。

## 2 運営会議（毎月一回）の開催

平成 25 年 4 月 22 日、平成 25 年 5 月 27 日、平成 25 年 6 月 24 日、平成 25 年 7 月 29 日、平成 25 年 8 月 26 日、平成 25 年 9 月 24 日、平成 25 年 10 月 28 日、平成 25 年 11 月 25 日、平成 25 年 12 月 16 日、平成 26 年 1 月 27 日、平成 26 年 2 月 24 日、平成 26 年 3 月 30 日  
 会議内容／事業の推進及び経営上の重要事項等の協議、他  
 出席者／副理事長、専務理事、常務理事、他理事 2 名及び協会幹部職員。

## II. 予防医学事業

### 1 母子保健分野における健診・検査（母子保健）

静岡県、静岡市、浜松市からの委託事業による新生児に対する先天性代謝異常症検査、ガラクトース血症検査、先天性副腎過形成症検査、先天性甲状腺機能低下症検査及び自己負担による神経芽細胞腫検査を実施した。平成 25 年 10 月より先天性代謝異常症検査においてタンデムマススクリーニングを開始した。

母子保健 検査実施状況

項目	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
	件数	前年比%	件数	前年比%	件数	前年比%
先天性代謝異常症検査	33,514	98.9	32,425	96.8	32,018	98.7
ガラクトース血症検査	33,514	98.9	32,425	96.8	32,018	98.7
先天性副腎過形成症検査	33,514	98.9	32,425	96.8	32,018	98.7
先天性甲状腺機能低下症検査	33,514	98.9	32,425	96.8	32,018	98.7
神経芽細胞腫検査	1,478	93.7	1,487	100.6	1,431	96.2

### 2 学校保健分野における健診・検査（学校保健）

#### (1) 腎臓、糖尿病検診

保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、特別支援学校等の児童、生徒、学生の全学年を対象に腎臓病検診及び糖尿病検診を実施した。

#### (2) 心臓病検診

小学校、中学校、高等学校の 1 年生を主に心臓病検診を実施した。

#### (3) 貧血検査

小学校、中学校、高等学校及び専門学校、特別支援学校の生徒を対象に実施した。

#### (4) 脊柱側弯症検査

小学校、中学校生徒を対象に脊柱側弯症検査を実施した。

#### (5) 生活習慣病予防検診

小学校高学年、中学校 1 年生及び高等学校 1 年生を主に生活習慣病予防検診を実施した。

(6) 寄生虫検査

保育園、幼稚園、小学校、特別支援学校の児童、生徒を対象に、寄生虫卵及び蟯虫検査を実施した。

(7) 聴力検査、血圧検査

小学校1・2・3・5年生、中学校及び高等学校1・3年生を主に聴力検査及び血圧検査を実施した。

学校保健 健診・検査実施状況

項目	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
	件数	前年比%	件数	前年比%	件数	前年比%
腎臓検診	237,984	92.9	266,643	112.0	255,373	95.8
糖尿病検診	237,984	92.9	266,643	112.0	255,373	95.8
心臓病検診	71,387	99.4	72,861	102.1	71,334	97.9
貧血検査	46,084	99.2	45,751	99.3	45,458	99.4
脊柱側弯症検査	9,901	99.6	9,740	98.4	9,651	99.1
生活習慣病予防検診	9,712	111.3	9,399	96.8	9,098	96.8
寄生虫検査（糞便）	379	103.8	374	98.7	404	108.0
〃（蟯虫）	138,370	98.0	119,523	86.4	115,775	96.9
聴力検査	40,319	95.3	37,568	93.2	33,812	90.0
血圧測定	1,956	104.9	2,695	137.8	2,370	87.9
計	556,092	96.1	564,554	101.5	543,275	96.2

3 職域保健分野における健診・検査（職域保健）

(1) 定期健康診断、雇入時健康診断

企業等の従業員に対する労働安全衛生法に基づく定期健康診断及び雇入れ時に行う雇入時健康診断を実施した。

(2) 特定健診・特定保健指導

「特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準」（厚生労働省）に基づき実施した。

(3) 特殊健康診断

有機溶剤、鉛、電離放射線、特定化学物質、粉じん等の業務従事者に対する健康診断及び行政指導によるVDT及び重量物等を取り扱う者に対する頸肩腕、腰痛等の健康診断を実施した。

(4) 胃がん検診

X線撮影による胃がん検診を実施した。

(5) 肺がん検診

X線撮影及び喀痰細胞診による肺がん検診を実施した。

(6) 大腸がん検診

便潜血反応検査による大腸がん検診を実施した。

(7) 子宮頸がん検診

細胞診による子宮頸がん検診を実施した。

(8) 乳がん検診

超音波、マンモグラフィ及び視触診による乳がん検診を実施した。

(9) 前立腺がん検査

血液検査による前立腺がん検査を実施した。

(10) その他検査

その他として、寄生虫卵検査を実施した。

産業医業務として、安全衛生委員会への出席及び職場巡視を実施した。

職域保健 健診・検査実施状況

年 度 項 目	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
	件 数	前年比%	件 数	前年比%	件 数	前年比%
定 期 健 康 診 断	118,354	103.6	131,895	111.4	131,033	99.3
定期健診(内 特定健診)	(39,874)	-	(47,636)	-	(46,335)	-
雇 入 時 健 康 診 断	878	198.2	1,801	205.1	2,381	132.2
特 殊 健 康 診 断	25,117	98.3	28,167	112.1	25,047	88.9
特定健診(被扶養者対象)	3,451	92.7	3,372	97.7	5,739	170.2
特 定 保 健 指 導	369	-	624	169.1	636	101.9
胃 が ん 検 診	15,777	92.5	19,919	126.3	21,545	108.2
肺 が ん 検 診	84,520	98.1	100,699	119.1	97,932	97.3
大 腸 が ん 検 診	32,243	98.3	39,428	122.3	39,886	101.2
子 宮 頸 が ん 検 診	1,112	102.0	1,643	147.8	2,668	162.4
乳 が ん 検 診	1,223	103.3	1,586	129.7	2,902	183.0
前立腺がん検査	1,032	105.0	1,476	143.0	1,708	115.7
寄 生 虫 卵 検 査	898	86.3	860	95.8	1,035	120.3
計	284,974	-	331,470	116.3	332,512	100.3

※ 定期健診(内 特定健診)は、定期健康診断(労働安全衛生法に基づいた事業所の労働者を対象とした健診)の実施件数の内、特定健診(年度末年齢40歳から74歳を対象)に相当する実施件数です。

#### 4 地域保健分野における健診・検査(地域保健)

##### 1) 住民健診

###### (1) 特定健診・特定保健指導

「特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準」(厚生労働省)に基づき実施した。

###### (2) 胃がん検診

X線撮影による胃がん検診又は血液検査による胃がんリスク検診を実施した。

###### (3) 肺がん検診

X線撮影及び喀痰細胞診による肺がん検診を実施した。

###### (4) 大腸がん検診

便潜血反応検査による大腸がん検診を実施した。

###### (5) 子宮頸がん検診

細胞診による子宮頸がん検診を実施した。

###### (6) 乳がん検診

超音波、マンモグラフィ及び視触診による乳がん検診を実施した。

###### (7) 前立腺がん検査

血液検査による前立腺がん検査を実施した。

###### (8) その他検査

骨粗鬆症検査を実施した。

地域保健 健診・検査実施状況

年 度 項 目	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
	件 数	前年比%	件 数	前年比%	件 数	前年比%
特 定 健 診	4,275	111.7	4,332	101.3	4,843	111.8
胃 が ん 検 診	7,130	104.9	7,099	99.6	7,076	99.7
胃 が ん リ ス ク 検 診	-	-	-	-	1,432	-
肺 が ん 検 診	14,165	95.9	35,608	251.4	35,574	99.9
大 腸 が ん 検 診	11,605	120.3	11,833	102.0	12,874	108.8
子 宮 頸 が ん 検 診	5,794	112.1	6,138	105.9	6,176	100.6

乳がん検診	6,552	106.9	6,970	106.4	6,917	99.2
前立腺がん検査	2,421	116.6	2,559	105.7	2,654	103.7
骨粗鬆症検査	1,297	100.2	1,901	146.6	2,008	105.6
計	53,239	107.1	76,440	143.6	79,554	104.0

## 2) 総合健診（人間ドック）

### (1) 基本ドック

人間ドック学会、健保連の基準項目に協会独自の項目を追加し、実施した。

### (2) 脳ドック

脳MRI（断層像）・MRA（血管像）と頸部MRA（血管像）の健診を行った。また、脳ドックAコースでは人間ドックの検査項目に準じた健診を実施した。

### (3) 婦人科検診

子宮がんに対し内診、細胞診、乳がんに対してマンモグラフィ等による検診を実施した。

### (4) 骨ドック

前腕及び腰の骨密度検査を実施した。

### (5) その他の検診

① オプションとして以下の検査を実施した。

〔動脈硬化度測定、寄生虫検査、前立腺がん検査（PSA）、男性・女性腫瘍マーカー検査、甲状腺検査、ピロリ菌検査、胃カメラ、腹部CT検査、ヘリカルCT検査、頸部IMT、大腸CT検査など〕

② 生活習慣病予防健診

③ 定期健康診断

### (6) 二次検査

以下の検査を実施した。

〔胃カメラ、注腸検査、心臓超音波、ホルター心電図、血液・尿二次検査、ヘリカルCTなど〕

### (7) その他

・施設の整備に伴い2診での内視鏡の運用を実施した。

#### 総合健診センター 健診事業実施状況

項目	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
	件数	前年比%	件数	前年比%	件数	前年比%
基本ドック	8,784	103.1	9,286	105.7	9,905	106.6
脳ドック（A）	85	63.4	91	107.1	106	116.5
脳ドック（B）	1,572	87.3	1,675	106.6	1,725	103.0
婦人科検診	4,253	103.7	4,614	108.5	5,052	109.5
骨ドック	730	71.7	634	86.8	618	97.5
特定保健指導	124	—	182	146.8	232	127.5
その他の検診	6,611	120.5	1,812	27.4	2,346	129.5
二次検査	2,569	115.2	2,683	104.4	3,732	139.1
計	24,728	—	20,977	84.8	23,716	113.1

## 3) 諸検査

### (1) 細菌検査

法により義務付けられている集団給食、食品営業及び水道施設関係従事者に対し、腸内細菌、腸管系病原菌等の検査を実施した。

(2) 血清学的検査

B型肝炎抗原抗体検査及びC型肝炎ウイルス検査を実施した。

(3) その他

学校生徒の血液（血清鉄、総コレステロール等）の検査及び事業所等からのその他検査を実施した。

諸検査 実施状況

項目	年度	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
		件数	前年比%	件数	前年比%	件数	前年比%
細菌検査		76,256	97.1	76,412	100.2	75,012	98.2
血清学的検査		35,185	88.1	42,653	121.2	34,276	80.4
その他		15,448	131.2	22,562	146.1	14,543	64.5
計		126,889	97.4	141,627	111.6	123,831	87.4

※件数は検査項目数を計上

5 健診・検査結果に基づいた保健・栄養・運動指導等の健康づくり支援（保健栄養運動指導）

健康保険組合員、共済組合員等に対し、運動指導、健康講話を実施した。

保健栄養運動指導 実施状況

項目	年度	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
		件数	前年比%	件数	前年比%	件数	前年比%
運動指導		614(171)	-	606(151)	98.7(88.3)	383(84)	63.2(55.6)
健康講話		90(20)	-	90(20)	100.0(100.0)	29(27)	32.2(135.0)
保健相談		594(594)	-	749(749)	126.1(126.1)	1,404(822)	187.4(109.7)
栄養相談		635(635)	-	611(611)	96.2(96.2)	672(672)	110.0(110.0)
計		1,933(1,420)	-	2,056(1,531)	106.4(107.8)	2,488(1,605)	121.0(104.8)

( ) 内は、総合健診センターの実施数

6 広報紙や研修会等による疾病予防、健康増進に関する知識の普及・啓発（健康啓発・健康教育）

予防医学・保健事業の普及を図るため、講演会の開催、広報誌の発行、啓発紙の配布等の事業を実施した。

(1) 講演会の開催

講演会名	開催年月	概要	参加人員
学校保健セミナー	26年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演題 ガッテン流！目からウロコの健康講座企画術</li> <li>・講師 元NHK科学・環境番組部専任ディレクター／「ためしてガッテン」演出担当デスク 北折一</li> <li>・対象 一般県民及び学校養護教諭等</li> <li>・会場 静岡県男女共同参画センター あざれあ</li> </ul>	23
産業保健セミナー	26年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演題 ガッテン流！目からウロコの健康講座企画術</li> <li>・講師 元NHK科学・環境番組部専任ディレクター／「ためしてガッテン」演出担当デスク 北折一</li> <li>・対象 一般県民及び企業等保健衛生担当他</li> <li>・会場 静岡県男女共同参画センター あざれあ</li> </ul>	189

(2) 広報、啓発資料の配布等

① 事業年報	1,100 部
② 広報紙「けんこう静岡」	14,000 部
③ 予防医学ジャーナル	864 部
④ 家族と健康	600 部
⑤ 業務案内	2,000 部
⑥ 健康ビデオの貸出し	なし
⑦ インターネット（ホームページ）への情報掲載	

7 健診検査データを利用した予防医学に関する調査研究（調査研究事業）

次の調査研究を実施した。

- (1) 健診検査データの活用による調査研究と健康づくりのための情報提供
- (2) 小学校の蟯虫卵陽性率の郡市別分布調査
- (3) 「アユ」における横川吸虫被嚢幼虫寄生の実態調査
- (4) 予防医学技術研究会議での調査研究

8 その他当協会の目的を達成するために必要な事業（その他目的を達成するために必要な事業）

(1) 機器の整備等

住民・企業健診の新たなニーズ及び現有機器の老朽化等に対応するため、以下の機器を購入した。

	品 名	金 額（税別、円）
機器の整備	胃・胸部併用 X 線デジタル検診車	60,000,000 円
	マンモグラフィ検診車	60,000,000 円
	胃部 X 線デジタル検診車 (聴覚障がい者他支援システム搭載)	53,000,000 円
	内視鏡ビデオ画像プロセッサ	16,510,000 円
	細胞診システム	6,000,000 円
	先天性代謝異常検査システム	3,052,000 円
	日立健診・検査システム(基本パッケージ)	36,214,400 円
	〃 サーバー式、他	7,347,300 円

(2) 職員の資質、検査技術の向上

日本医師会、予防医学事業中央会、全国労働衛生団体連合会、日本総合健診医学会等が開催する研修会、研究会、講習会等に積極的に参加し、職員の資質及び検査技術の向上に努めた。また、医療制度改革にともなう諸課題へ対応していくための勉強会を積極的に実施した。

(3) 関係機関との連携等

県健康福祉部、県・市町教育委員会、県・郡市医師会、静岡県結核予防会、予防医学事業中央会、全国労働衛生団体連合会、健康教育推進本部等の関係機関との緊密な連携を図り、円滑な事業の推進に努めた。

なお、25 年度も県健康福祉部疾病対策課からの依頼を受けて、ハンセン病関連業務を実施した。

## 平成 25 年度 附 属 明 細 書

平成 25 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

## 報告事項 広報紙「けんこう静岡」の発行

### 第113号 平成25年4月1日発行

巻頭「健康な社会へ向けて」

静岡大学名誉教授・常葉大学教育学部教授 山本章

- ・保健指導担当職員による生活習慣改善コラム 「栄養素の種類と働き」
- ・第39回学校保健セミナー開催の報告  
「若者に忍び寄る性感染症の脅威」  
愛知医科大学病院感染症科教授 三嶋廣繁

### 第114号 平成25年7月1日発行

巻頭「地域医療における『安心医療の提供』と『減災力の強化』に向けた取組

～「静岡県保健医療計画」の一部見直しと「静岡県医療救護計画」の全面改定を行いました！～

静岡県健康福祉部医療健康局地域医療課長 竹内浩視

- ・保健指導担当職員による生活習慣改善コラム 「夏バテを予防しましょう！」
- ・第16回産業保健セミナー開催の報告  
「これからの時代を元気にたくましく生きるために」  
田中総研代表 田中雅子
- ・ヘルスポートだより  
協会けんぽ 人間ドックのご案内
- ・当財団 横田通夫理事長 瑞宝小綬章叙勲

### 第115号 平成25年10月1日発行

巻頭「高血圧―サイレントキラー― ―あなたは大丈夫ですか？―

総合健診センター・ヘルスポート所長 田川隆介

- ・新生児マス・スクリーニングのお知らせ
- ・ヘルスポートだより  
ヘルスポートでピロリ菌の除菌ができます
- ・(公財)JKA 競輪補助事業 胃部X線デジタル(聴覚障がい者向け検診システム搭載) 検診車導入のお知らせ

### 第116号 平成26年1月1日発行

巻頭「新年を迎えて」

理事長 横田通夫

- ・知事年頭挨拶 静岡県知事 川勝平太
- ・保健指導担当職員による生活習慣改善コラム 「お酒の話」
- ・(公財)JKA 競輪補助事業 胃部X線デジタル検診車の整備
- ・西部検査所・新棟がオープン
- ・西部検査所 駒形課長代理 (公財)予防医学事業中央会奨励賞受賞
- ・東部事務所 鈴木係長 (公財)全国労働衛生団体連合会功績賞受賞

小学校生徒の蟯虫卵陽性率の郡市別分布調査及びアユにおける横川・宮田吸虫被囊幼虫寄生の実態調査について、次のとおり報告する。

小学校生徒の蟯虫卵陽性率の郡市別分布調査

区分 市郡別	年度別陽性率・順位（○印）		
	平成23年度 順位 %	平成24年度 順位 %	平成25年度 順位 %
下田市	③ 0.09	① 0.10	① 0.41
熱海市	0	0	0
伊東市	⑤ 0.06	② 0.06	0
御殿場市	0	0	0
伊豆市	0	0	0
伊豆の国市	0	0	0
静岡市	① 0.13	④ 0.04	② 0.05
焼津市	—	—	—
島田市	—	—	—
御前崎市	0	0	0
牧之原市	⑥ 0.04	0	0
掛川市	—	—	—
袋井市	0	0	0
磐田市	0	⑤ 0.02	0
天竜市	—	—	—
浜松市	② 0.12	③ 0.05	③ 0.03
湖西市	⑧ 0.03	0	0
菊川市	⑦ 0.04	0	0
賀茂郡	0	0	0
田方郡	—	—	—
駿東郡	④ 0.09	0	0
富士郡	—	—	—
庵原郡	—	—	—
榛原郡	—	—	—
小笠郡	—	—	—
磐田郡	—	—	—
周智郡	0	0	0
浜名郡	0	—	—
引佐郡	—	—	—
県平均	0.08	0.03	0.04

※ (1) 焼津市、島田市、掛川市、富士郡は実施していない。

※ (2) 16年度以降は、合併による新市、町による表示とする。

伊豆市—旧修善寺町・土肥町・天城湯ヶ島町・中伊豆町、 伊豆の国市—旧伊豆長岡町・菰山町・大仁町  
 静岡市—旧静岡市・清水市・蒲原町・由比町、 島田市—旧島田市・金谷町・川根町、 牧之原市—旧相良町・榛原町  
 御前崎市—旧御前崎町・浜岡町、 菊川市—旧小笠町・菊川町  
 磐田市—旧磐田市・福田町・竜洋町・豊田町・豊岡村 袋井市—旧袋井市・浅羽町  
 浜松市—旧浜松市・天竜市・浜北市・春野町・龍山村・佐久間町・水窪町・引佐町・細江町・三ヶ日町・雄踏町・舞阪町

## 「アユ」における *Metagonimus* 属の被囊幼虫寄生の実態調査について (2013 年度分)

### 【はじめに】

*Metagonimus* 属の横川・宮田吸虫類の人体感染源としては、淡水魚 40 余種に及ぶことが知られておりなかでもアユが有名である。2013 年 8 月から 9 月末にアユにおける *Metagonimus* 属の被囊幼虫（メタセルカリア）の寄生状況を静岡県内の河川ごとに調査した。また、2006 年度からウロコと筋肉に分けて調査を開始したので河川別に結果をまとめた。

### 【方 法】

今年度もアユ産地として知られる主要 8 河川の各漁業組合にご協力をいただいて、アユを回収した。アユの保存状態は、できるだけ冷凍保存でないアユをお願いした。回収したアユの体長及び重量を計測し、アユの両側のウロコすべてを剥がし、また筋肉も薄く切ってからペースト状にし、ウロコ・筋肉内に寄生している被囊幼虫を光学顕微鏡で算定した。

### 【結果及び考察】

被囊幼虫の河川別寄生状況についての調査結果をウロコ、筋肉、及び 2006 年からの年度別河川別寄生率にまとめた。

- 1 今回の検査魚数はウロコ、筋肉ともに 40 尾で、そのうちウロコの被囊幼虫寄生魚は 7 尾（17.5%）、筋肉の被囊幼虫寄生魚は 1 尾（2.5%）であった。
- 2 ウロコにおける被囊幼虫寄生率
  - (1) 県内を東、中、西部の地区別に寄生率を前年度と比較すると、
    - 1) 東部では今年度 0.0%であり 20.0%減少した。
    - 2) 中部では今年度 26.7%であり 13.4%上昇した。
    - 3) 西部では今年度 20.0%であり 35.7%減少した。
  - (2) 河川別に寄生率を前年度と比較してみると、
    - 1) 上昇したのは 0 河川であった。
    - 2) 低下したのは 3 河川であった。
    - 3) 変化がなかったのは 5 河川であった。
- 3 筋肉内における被囊幼虫寄生率
  - (1) 寄生していたのは 8 河川中、西部（1 河川）であった。
- 4 一般にアユにおける *Metagonimus* 属の被囊幼虫の寄生部位は、ウロコに 53%、筋肉内に 40%、ヒレに 7%といわれている。
- 5 *Metagonimus* 属の人への感染予防は、十分な加熱調理をすることである。

## 予防医学技術研究会議での調査研究

第 48 回予防医学技術研究会議（愛媛県）

平成 26 年 2 月 27 日(木)、28 日(金)

### 1、静岡県下主要河川のアユにおける横川吸虫の寄生状況（第 4 報）

静岡県下のアユにおける横川吸虫被囊幼虫（メタセルカリア）の寄生状況について、第 1 報（1966 年～1987 年）、第 2 報（1990 年まで）、第 3 報（1991 年～2002 年）を報告してきた。特に第 3 報では寄生率が増加傾向にあることが認められたため注視してきたが、今回は第 4 報として 2013 年の結果を中心に、2003 年～2013 年間での 10 年間とこれまでのデータをまとめ、傾向について報告した。

### 2、尿沈渣の内部制度管理における取り組み

当会は県内 3 拠点に検査室があり、尿沈渣は様々なレベルの検査技師が業務に携わっている。しかしながら尿沈渣のような形態学的検査は、検査者の主観が入りやすいために結果報告に差が生じる可能性を否定できない。そこで尿沈渣中の有形成分の中でも硝子円柱、顆粒円柱、赤血球、白血球に焦点をあて、誰が検査をしても同じ基準で結果報告ができることを目的とした内部精度管理を実施した。今回そのことにより見えてきた課題と解決するための取り組みについて報告した。